

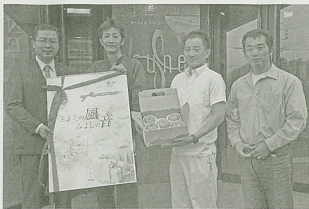
# 知多・三河・静岡

●知多支社 半田市泉町1-4  
新美ビル4階  
0569(24)6320  
FAX 0569(24)6367

●三河支社 岡崎市明大寺町  
寺東5-3 鈴鹿  
0564(52)2  
FAX 0564(54)2

●豊田支局 豊田市小坂本町  
4-2  
0565(34)

カタロケギフト「風じめ、しゃぶしゃぶ用た、どら焼きもラインアップ（フューネ）」には、豚肉までそろえた。まアップに加え、客が8種類の商品から好きなものを選び、季節ごとに果物をはいちごを材料に使った。豊田産の抹茶や種類の商品から好きなものを選べるようにした。



豊田のメンバーからカタロケの発祥地、半田市泉町の三浦直樹社長（左）

## 葬祭業のFUNE

### 若手農家集団と提携 地産地消の新形態提案

葬祭業のFUNE（フューネ、本社豊田市小坂本町6の15、三浦直樹社長、電話0565・355・3535）は、このほど、葬儀や法要の引き出物として、地元産産物を集めたカタロケギフトの販売を開始した。若手農家集団として、た華農人（ゆめの1と）と協力関係を結び、生産者の顔が見える旬の食材を届ける。引き出物にも独自性を取り入れ、葬儀などの付加価値を高めるのが狙い。農産物の流通の新しい形を発信し、地域農業の活性化にもつながる考え。

（豊田・塩田裕史）

# 引き出物に地元農産物

いずれの食材も、豊田市のメンバーが担田市とみよしの農産物。昨年の稲刈り以来、物を使用している。減イイベントなどで地元産農薬や有機肥料栽培、農産物の魅力発信に取抗生物質を含まない飼料を組む同団体にとっ

て、新しい販路がき地産地消を取り入れたのは願ってもなかった。（三浦社長）と。畑柄雄一会長は「FUNEは、必ず受け入れられる目がある。地域の活性化につながる。感動葬儀」を掲げ、価格競争を避ける三浦社長。米や野菜まで種類を広げたい」と意欲を示している。

一方、「引き出物に推進する考えだ。